

現代民俗学会第15回運営委員会

【日時】：9月11日(土) 午前10時30分～

【場所】：東京大学東洋文化研究所3階第一会議室

【出席者】：石本敏也、及川高、門田岳久、菅豊、武井基晃、塚原伸治、徳丸亞木、中野泰、古家信平、渡部圭一

一. 研究企画委員会

1. 第8回研究会（菅委員）

2010年11月27日13時から開催される、「自然保護と文化保護、何が違うのか？ その異同を考える」について企画書が配られ、主旨・発表者等が説明された。

2. 第9回研究会（門田委員）

来年度年次大会のプレシンポジウムの企画となることが確認された。詳細は次回運営委員会で説明される。

これに関連して、年会で個別発表を募集する場合、そろそろエントリーを受け付けなければならないと指摘された。

二. 編集委員会（徳丸委員・渡部委員）

1. 寄稿依頼

会誌第3号にドロシー・ノイズ氏の講演の和訳原稿が掲載を予定しており、翻訳者を決定し、依頼、承諾を得た旨、報告が成された。

2. 投稿状況

会誌3号に4本の論文が投稿され、受理された旨、報告が成された。

3. 査読の準備状況：査読方針

現在、編集委員会において改訂作業中である会誌第三号の査読方針について説明が成され、意見交換の後、査読方針については編集委員会に一任する旨、承認された。

4. 誌面構成・頁数

投稿状況から会誌第3号紙面構成に若干の余裕がある事から、その活用について意見交換が成され、ドロシー・ノイズ氏翻訳原稿の掲載を編集委員会で検討する事とした。また、批評欄の充実についても意見交換が成された。

5. その他

投稿論文のエントリーアナウンスの前倒しについて意見交換が成され、継続的に締め切り日の周知をはかる事とした。

三. 総務委員会

1. 3年未納者への対応（武井委員）

該当者のうち国内の4名には会員資格についての規定を明記した文書と振込用紙を送付済み。国外の1名についてはEメールで文書と振込番号を送ることとなった。

2. 会誌への論文投稿者が会費未納の場合（武井委員）

会費を完納した会員が論文を投稿でき、査読を受けられることが確認された。今回は該当者がいないが、次号に向けて編集委員会と連携し、その明文化と遵守を求める。

総務委員会から出された文案に対して、未納の場合は査読・掲載がなされない旨の説明が必要であると指摘された。

3. 次回第16回運営委員会の日程

11月の土日を候補に調整する。